

広報

いか

2021年

2

No.350

三重とわか国体
ときめいて人 かがやいて未来 2021

あと236日



特集

伊賀市地域おこし協力隊活動報告

掲載している催しは新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期する場合があります。
催しなどに参加するときは、マスクの着用など感染予防を行いましょう。

今月の表紙は令和3年成人式の様子。

今月の納税

●納期限 3月1日(月)

納期限内に納めましょう

固定資産税(4期)

国民健康保険税(8期)

伊賀市地域おこし協力隊活動報告

地域おこし協力隊とは

人口減少や高齢化が進む地方に、地域外の人材を地域おこし協力隊として積極的に受け入れ、地域ブランドの開発などの地域おこし支援活動などを行いながら、地域への定住・定着を図る取り組みです。

伊賀市では現在、島ヶ原地域で西村隊員が、阿波地域で菅生隊員が活動しています。

今回は、二人のこれまでの活動成果などを報告します。

【問い合わせ】

- 島ヶ原支所振興課 ☎ 59-2053 FAX 59-3196
- 大山田支所振興課 ☎ 47-1150 FAX 46-0135
- 地域づくり推進課 ☎ 22-9680 FAX 22-9694

島ヶ原 西村 英里奈 隊員

伊賀市に移住した率直な感想は「移住してきて良かった」です。

島ヶ原では人や環境にも恵まれ、野菜作りを通して、自然と共存することの大切さや、モノ作りの楽しさを感じながら活動しています。



こんな活動を行いました！

活動1 島ヶ原産のニンジンでジュース作り

ミネラルとビタミンが豊富な島ヶ原産のニンジンが無農薬で栽培し、素材の栄養素をまるごととれるジュースで「素材と製法にこだわった心と体に優しい健康ジュース」を作り、商品化を進めています。

ニンジン本来の甘みを感じられます。



活動2 地域おこしに役立つ研修への参加

赤目自然農塾や市の主催する観光まちづくり企画塾で、野菜や米の育て方や、企画・商品作り、どうやって売っていくかなどを学びました。協力隊として、技術を学んだり商品を作るだけでなく、その先の商品の売り方や発信の方法も勉強し活動に生かしています。

動画での情報発信についても学びました。



島ヶ原地域まちづくり協議会

会長 松永 享二さん



西村さんは、地域の野菜作りを学びつつ、島ヶ原産のニンジンを使ったジュース作りなど、地道に粘り強い活動をしています。1月には主原料のニンジン収穫し、ジュースを試作したところ、大変甘くて飲みやすいジュースができました。

まだまだ地域の課題が残っていますので、これからも島ヶ原地域で活動してほしいと思います。

阿波 菅生 文佳 隊員



サルの見回りに使うアンテナ

阿波地域に着任してから、これまでに獣害対策について取り組んできたほか、アマゴの発眼卵の放流など、さまざまな活動を行ってきました。どの活動も、一人では行えないため、地域のひととの連携を大切にしながら活動しています。

活動1 サルの見回り

地域のひとと一緒にサルの見回りをしています。

サルに着けている発信機をアンテナで受信して探します。サルの位置を把握し追い払うことで、農作物の被害を未然に防ぐように頑張っています。

アンテナを使うとサルがいる方向と大まかな場所が分かります。



活動2 シカの解体

解体処理施設でシカの解体研修を受けています。

解体は一人で行えるようになり、現在は作業時間の短縮をめざしています。

捕獲は地域の人に手伝ってもらっているため、これからは一人でできるように頑張っていきます。

▼シカを解体する様子



阿波地域住民自治協議会

会長 村上 靖尚さん



面談時は小柄で繊細な印象でしたが、さすが「狩ガール」です。今では、猟師や食肉業者と連携して狩猟やジビエ肉の生産などをはじめ、試験研究機関との連携も行い、活動域を広げています。

地域おこしに3年間は短すぎますので、任務終了後もこの地で活動してほしいと思います。

これまでを振り返って

西村隊員 令和元年11月着任



一年はあっという間で、いろんな出会いがあり、多くの人に支えてもらった一年でした。

自分の感性を大事にしながら「感謝」と「楽しむこと」を忘れず、地域課題の解決や地域おこしができるように、取り組んでいきたいです。

これからもさまざまな情報を集め、もっと大胆にチャレンジしていきたいと思っています。

菅生隊員 令和2年7月着任



着任して7カ月が経ち、地域や活動にも慣れてきて、わなの見回りや捕獲、研修といった1日の流れも定着してきました。

また、阿波地域はもちろん、他の地域のひととも繋がりができ、旬の野菜や米、鹿肉、猪肉をもらうこともあります。これからはおいしい野菜や米がとれるよう、獣害を減らしていきたいと思っています。

地域おこし協力隊の活動はフェイスブックをチェック！



日々の活動を紹介しています。



◀伊賀市地域おこし協力隊フェイスブックページ



伊賀市若者会議 今年度の取り組みを紹介します

伊賀市若者会議は2018年9月に「来たい・住みたい・住み続けたい伊賀市」を実現するために発足しました。現在、10歳代から30歳代まで51人が在籍しています。

これまでに、市事業への参画や、伊賀市を元気にするアイデアの実践、市内外の若者同士の交流、メンバーのスキルアップのための勉強会などを行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、制約があるなかでの活動になりましたが、その中でもさまざまな取り組みを進めてきました。その一部を紹介します。



一緒に活動しませんか？
伊賀市若者会議では、随時メンバーを募集しています。
市内在住・在勤または伊賀市にゆかりのある18歳から35歳までの人（高校生除く。）で、活動に興味がある人はお問い合わせください。

【問い合わせ】

総合政策課

☎ 22・9623 FAX 22・9672

✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp



◀伊賀市若者会議
公式Instagram

見てね！

#いがまるエール活動



コロナ禍により、飲食店をはじめ市内事業者は深刻な影響を受けました。こういった状況の中で、自分たちが何ができるかを話し合い、4月に「#いがまるエール」というブログやSNSで情報発信する活動を始めました。

市内在住ブlogger「いがりんく」さんと協働して、若者会議公式SNSで市内事業者を紹介し、詳細はブログにまとめました。「#いがまるエール」の特徴は、事業者の顔が見えることです。SNSの投稿写真には、必ず店員などの関係者に写っていただきました。顔が見えることで店や会社などを身近に感じることができ、「#いがまるエール」のブログには、多いときで1日に2,000件を超えるアクセスがありました。

現在、120を超えるさまざまな市内事業者を紹介しています。今後も「#いがまるエール」活動を継続し、市内外の人が伊賀市のことを身近に感じられる情報発信をしていく予定です。

伊賀上野シティマラソン オンライン変わり身の術編PR動画作成



秋の恒例行事として、多くのランナーから親しまれている「伊賀上野シティマラソン」。今年度はコロナ禍により、オンラインマラソンとして開催されました。この新たな試みに協力したいという思いで、伊賀市に來られないランナーが、来年度以降、「伊賀市に來たいー走りたいたいー」と思えるようなPR動画を制作しました。「動画をみて参加を決めました」という声もいただき、とてもやりがいのある取り組みになりました。

今後も動画撮影に関する勉強会を開き、個々のスキルを向上させながら、多くの人に伊賀市を魅力的に感じてもらえるような動画を制作していきます。その一環として、昨年12月から行政だより「ウィークリー伊賀市」内に若者会議のコーナー「IGA Waka Channel」を持つことになりましたので、ぜひご覧ください。

プロジェクションマッピング



今年度の伊賀市若者会議の全体活動として、プロジェクションマッピングの制作に取り組んでいます。

「伊賀市には夜に楽しめるイベントが少ない」「訪れる観光客は多いが宿泊する人が少ない」「単なるイベントではなく、自分たちの成長に繋がりたい」といったメンバーの思いが重なり、プロジェクションマッピングを企画しました。

10月から月1回の企画会議で勉強会を開催し、基本的な制作技術をはじめ、ドローンによる動画撮影技術などを学びました。

2月下旬には中心市街地周辺で実際にプロジェクションマッピングを行う予定です。詳しくは若者会議の公式SNSをご覧ください。

伊賀市流の地域共生社会の実現をめざし

第4次伊賀市地域福祉計画を策定します

地域福祉計画とは

地域福祉計画とは、「ふだんのくらしのしあわせ」を実現するための登山計画のようなものです。頂上までのルートや持ち物を念入りに計画し、登山の主人公である市民の皆さんと共に、めざすべき地域福祉の頂上へ一歩一歩登っていくと考えています。

第3次計画までの中で、いくつかの頂上（目標）に登達し、伊賀市らしい地域福祉の眺めを見ることができました。

第4次計画は、これまで登ってきた道を振り返りつつ、改めて伊賀市らしい地域福祉の山頂を、皆さんと一緒に考えながらめざしたいと思います。

※計画策定にあたり作成した説明動画中の、地域福祉計画推進委員会委員長、皇學館大学板井正斉教授のあいさつより抜粋。

見えてきた課題

第3次計画では、地域福祉のさまざまな課題に対応するため、地域の課題を地域住民が主体的に解決していく場である地域福祉ネットワーク会議の設置や、各支援機関が連携して地域支援をするためのネットワークづくりなどを行ってきました。

そのなかで、次のような課題が見えてきました。

- 地域での支え合い基盤の弱体化
- 相談件数の増加、相談内容の多様化・複合化
- 対応が困難な相談事案の増加
- 人材・資源・制度などの活用が不十分
- 福祉サービスなどに関する情報の周知や啓発の不足 など



課題への対応

第4次計画では、課題解決のため、これまで築き上げてきた地域福祉ネットワーク会議を基礎としながら、地域活動が行われる場づくりや、高齢者・障がい者・子育て・生活困窮者などの分野ごとに分かれていた相談などの支援を、一体的に行う重層的支援体制を整備し、伊賀市流の地域共生社会をめざします。



第4次計画 理念と戦略

第4次計画では「ひとりひとりが支え合いつながりあいながら、いきいきと暮らせるまちづくり」を理念に掲げ、地域共生社会の実現に取り組みます。

理念を達成するため、「3つの戦略」を柱とし、戦略に基づいて「4つの支えと4つの安心」と「6つの充実」という重点施策を定めます。

基本理念「ひとりひとりが支え合いつながりあいながら、いきいきと暮らせるまちづくり」

戦略①
地域の力を高める

戦略②
地域と専門機関をつなぐ

戦略③
専門機関の力を高める

重点施策

4つの支え

高齢者支援 障がい者支援 子育て支援 生活困窮者支援
「包括的に相談を受け止める」「社会とのつながりが薄い人を社会とつなげる」
「地域において住民が集う居場所づくり」などの支援を一体的に行う

4つの安心

住まい 地域医療 健康づくり 暮らし(交通・人権・多文化共生・文化)
市民が安心して生活できるよう、ネットワークを構築する

6つの充実

みんなでつくる地域福祉コミュニティ
地域福祉ネットワーク会議をベースにしたこれからの地域づくり

多機関の連携による福祉の「わ」づくり
多機関が連携する地域づくりの取り組み

つながりあえる地域づくり
地域で支え合いつながっていく基盤や関係づくりを強化する

安心と安全のまちづくり
困りごとがあっても安心して暮らすことができる環境をつくる

これからの人材を育成するしくみづくり
持続可能な地域づくりのために、地域の担い手を育成する

生きづらさを抱えた人に寄り添う社会づくり
何らかの原因で生きづらさを抱えている人の生きづらさを軽減する

【問い合わせ】
医療福祉政策課
☎ 26・3940
FAX 22・9673
✉ inyoutukushi@city.iga.lg.jp



◆今後の予定

現在、第4次伊賀市地域福祉計画の策定をめざし、中間案を作成しています。

その中間案について、皆さんからご意見をいただくためのパブリックコメントの募集を予定しています。パブリックコメントの募集期間などが決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。



会議のほか、ワークショップなども行っています。

地域福祉ネットワーク会議の様子





新型コロナウイルス感染症 対策を行いましょう

◆気を緩めることなく対策を続けましょう

全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。

12月16日(木)から1月8日(金)までを市独自の感染拡大防止強化期間として、皆さんに感染防止対策の徹底をお願いしたところ、全国で感染者数が増加傾向にある中、期間中の市内の感染者数を抑えることができました。

今後も自分や周囲の人の健康を守るため、感染対策を十分に行い、感染リスクの高まる「5つの場面」に注意しましょう。



感染拡大防止強化期間中、黄色にライトアップされた上野城

感染リスクが高まる「5つの場面」

- 飲酒を伴う懇親会など
- 大人数や長時間におよぶ飲食
- マスクなしでの会話
- 狭い空間での共同生活
- 仕事上の休憩時間など居場所の切り替わり

◆ワクチン接種のためのクーポン券を送付します

市では現在、コロナウイルス感染症のワクチン接種がスムーズに接種できるよう、国の方針に従って準備を進めています。

現時点では、国からの指示により、高齢者から順に接種が始まる予定で、接種対象の人に順次クーポン券（無料接種券）を送付する予定です。

クーポン券の送付時期など、ワクチン接種に関する最新情報は市ホームページや行政チャンネルなどでお知らせします。

- 伊賀市ホームページ
新型コロナウイルスワクチン接種について



【問い合わせ】

- 総合危機管理課
☎ 22-9640 FAX 24-0444
✉ kikikanri@city.iga.lg.jp
- 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666
✉ kenkousuishin@city.iga.lg.jp

◆新型コロナウイルス感染症に関する最新情報はホームページをチェック

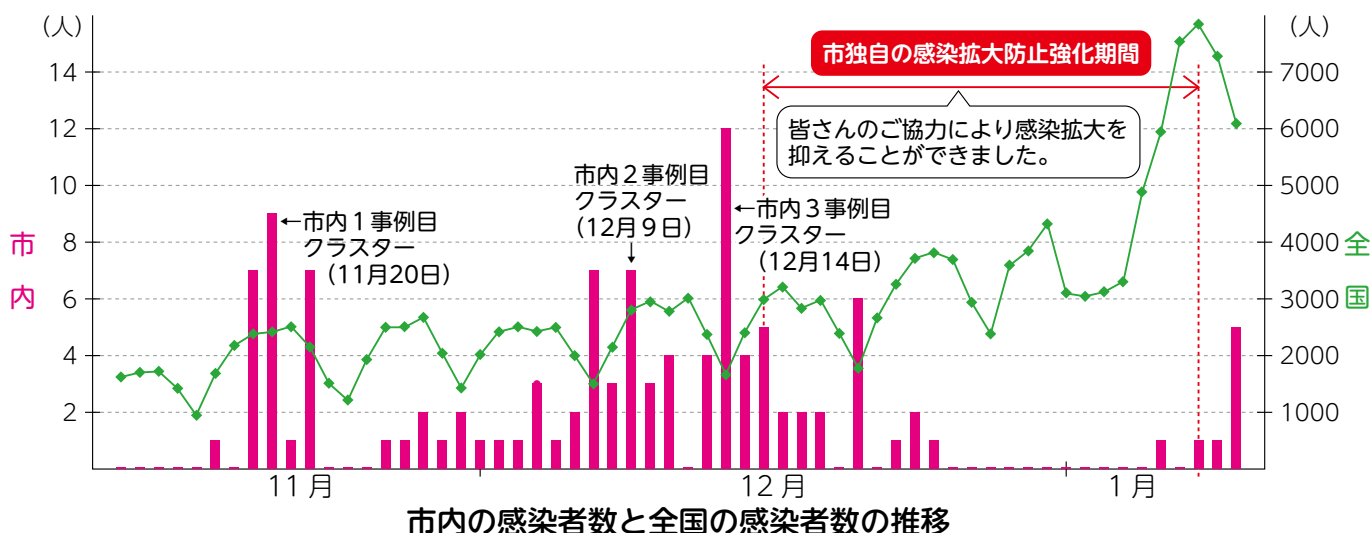
- 伊賀市ホームページ
新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ



- 三重県ホームページ
三重県新型コロナウイルス特設サイト



- 厚生労働省ホームページ
新型コロナウイルス感染症について



トピックス

NET119緊急通報システム 登録・説明会

消防本部では、聴覚や発話の障がいにより、音声での119番通報が困難な人のために、「NET119緊急通報システム」の運用を開始します。

スマートフォンなどのGPS機能を利用することで、音声の聞き取りが難しい人や発声が難しい人も、素早く通報したり、位置情報を知らせることができます。

【対象者】

- 聴覚に障がいがある・音声の聞き取りが難しい人
- 音声の発話に障がいがある人・発声が難しい人

◆登録・説明会を開催します

【とき】 2月28日(日)

午後1時30分～3時30分

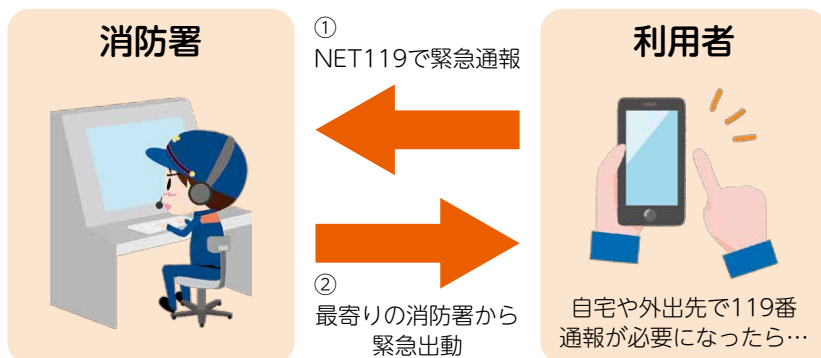
【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

※手話通訳、要約筆記あり。

【持ち物】

GPS機能付きでインターネットに接続できるスマートフォン

※古い機種では利用できない場合があります。詳しくは、お問い合わせください。



緊急通報を行う際、周囲に人がいない場合は自分で119番へ通報しなければなりません。このような場合の備えとしてNET119緊急通報システムが役に立ちます。

【問い合わせ】

○消防本部通信指令課

☎ 24・91110

FAX 24・3544

✉ tsushin-shirei@city.iga.lg.jp

○障がい福祉課

☎ 22・9656

FAX 22・9662

✉ shougai@city.iga.lg.jp

トピックス

農業者年金を「利用」ください

◆現役を退いた後も あなたの人生は続きます

○65歳からの平均余命

男性・20年 女性・24年（厚生労働省 平成31年簡易生命表より）

◆老後の生活費

○高齢農家世帯（世帯主が65歳以上の夫婦2人）の生活費

↓月額約24万円が必要（平成30年総務省家計調査）

○国民年金受給額（夫婦2人分）

↓月額約13万円（40年加入の場合）

1カ月あたり約11万円不足

◆農業者年金のメリット

○少子・高齢化時代に強い積立方式・確定拠出型の年金

○終身年金で80歳までの保証付き

○保険料は全額社会保険料控除の税制優遇措置

○保険料に国庫補助が上乗せされるなど、手厚い政策支援

【加入要件】

○国民年金第1号被保険者

○年間60日以上農業に従事している人

○20歳以上60歳未満の人

農業者年金の年金額の試算額

加入年齢	納付期間	性別	試算額（年額） ※月額2万円の保険料
20歳	40年	男性	750,800円
		女性	631,200円
30歳	30年	男性	498,200円
		女性	418,800円
40歳	20年	男性	295,000円
		女性	248,000円
50歳	10年	男性	131,500円
		女性	110,600円

※表の試算の運用利回りは農林水産省告示により定められている率で試算。運用利回りは加入後の経済変動などにより上下します。



【問い合わせ】

○農業委員会事務局

☎ 22・9720

FAX 22・9715

✉ nongyou@city.iga.lg.jp

○JAいがふるわい

本店

☎ 24・5111

トピックス

看護師・介護福祉士募集

【募集人数】

- 看護師…15人程度
- 介護福祉士…10人程度

【応募資格】

○看護師

- ①昭和37年4月2日以降生まれで、看護師免許を持っている人または令和4年3月末までに取得見込の人
- ②夜間勤務を伴う交代制勤務ができる人

○介護福祉士

- ①昭和47年4月2日以降生まれで、介護福祉士資格を持っている人または令和4年3月末までに取得見込の人
- ②夜間勤務を伴う交代制勤務ができる人

【勤務条件・賃金】

市の条例・規則によります。

※前歴に応じた加算措置や諸手当があります。

※託児所がありますので、子どもがいる人も安心して勤務できます。

【勤務場所】

上野総合市民病院

【応募方法】

病院総務課にある「伊賀市職員選考採用試験受験申込書」を持参または郵送で応募先まで。申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

※郵送の場合、簡易書留で送付。

【選考方法】 作文・面接

【試験日】

3月5日、4月2日、5月7日、6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、10月1日、11月5日、12月3日、令和4年1月7日、2月4日
※時間などは応募者に後日お知らせします。

【採用予定日】

令和3年5月1日から令和4年4月1日までの各月1日

【応募期限】

各試験日の14日前の午後5時15分まで（土・日曜日、祝日、12月29日～1月3日を除く。）



看護師



介護福祉士

【応募先・問い合わせ】

〒41-0065 上野総合市民病院総務課
FAX 24-15655
byouin-sounmu@city.iga.lg.jp

トピックス

IGA NINJA WEEK 2021

【とき】

2月20日(土)～23日(火祝)

【ところ】

伊賀上野城下町周辺

【内容】

○古地図で巡る城下町リアル&バーチャル忍者体験

アプリを活用し、「伊賀の秘伝書」とりかえせ」のストーリーに沿って、まち歩きを楽しみながら、伊賀忍者道場やレーザー手裏剣バトルなどを体験できます。古地図で城下町を散策したい人、バーチャルな体験を楽しみたい人など、参加をお待ちしています。

その他、新しい生活様式に沿った観光コンテンツの体験、新しい伊賀の土産物の販売など、さまざまなイベントが勢ぞろいします。



【問い合わせ】

観光戦略課
TEL 22-0670 FAX 22-0605
kankou@city.iga.lg.jp

看護師・介護福祉士修学資金制度

【募集人数】

若干名

【応募資格】

○看護師…

看護師免許を取得するため、看護専門学校または看護系大学に入学・在学する人で、卒業後に病院で看護師として勤務する人

○介護福祉士…

介護福祉士資格を取得するため、介護福祉士養成施設に入学・在学する人で、卒業後に病院で介護福祉士として勤務する人

【貸与額】

○看護師…

月額5万円または8万円

○介護福祉士…

月額5万円

【返還の免除】

卒業後、速やかに看護師免許または介護福祉士資格を取得し、次の期間に上野総合市民病院で勤務した場合は、修学資金の返還を免除します。

- 5万円の場合…貸与を受けた期間に相当する期間
- 8万円の場合…貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間

【応募方法】

次の書類を応募先まで郵送または持参。申請書は当院ホームページからダウンロードできます。

○修学資金貸与申請書

○合格通知書または在学証明書

○履歴書（写真添付）

【選考方法】

書類審査・作文・面接



介護福祉士



看護師

【応募先・問い合わせ】
41・0065

FAX 24・1565
上野総合市民病院病院長事務課

児童扶養手当と障害年金の併給調整

令和3年3月分（5月支給）から、変更があります。

◆見直し内容

現在、障害年金を受給しているひとり親家庭の人は、障害年金額が児童扶養手当額を上回る場合には、児童扶養手当が受給できず、就労が難しい人は厳しい経済状況におかれています。

そのため、「児童扶養手当法」の一部が改正され、3月分から、児童扶養手当の額と障害年金の子の加算部分の額との差額を児童扶養手当として受給することができるようになります。

◆手当を受けるための手続き

現在、児童扶養手当受給資格の認定を受けている人は、原則、申請不要です。

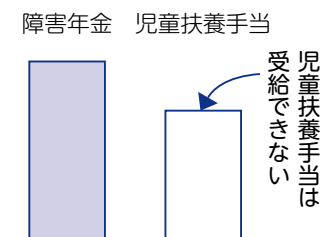
それ以外の人は、申請が必要です。なお、3月1日より前であっても、申請することができます。

◆支給開始月

通常、申請した月の翌月分から支給を開始しますが、これまで障害年金を受給していたために児童扶養手当を受給できなかった人のうち、令和3年3月1日に支給要件を満たしている人は、令和3年6月30日（木）までに申請することで令和3年3月分の手当から受給できます。

※令和3年3月分と4月分の手当は、5月に支給されます。

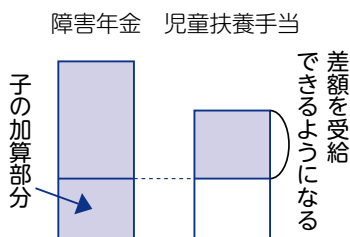
見直し前（令和3年2月分まで）



障害年金のほうが多い場合、障害年金のみ受給できる。



見直し後（令和3年3月分から）



障害年金に加えて、障害年金の子の加算分と児童扶養手当の額の差額を受給できる。



【問い合わせ】こども未来課
22・9677 FAX 22・9646

☐ kodomo@city.iga.lg.jp

安政伊賀地震と

上野城の修築

嘉永7（1854）年6月の「安政伊賀地震」で上野城は甚大な被害を受けました。本丸や天守台をはじめ、内堀・外堀など、あちこちの石垣が崩れ、櫓や土塀も大きく損なわれたのです。

藤堂藩は町村復旧や被災者支援を進める一方、伊賀統治の中心として重要な施設である上野城の修築もしなければなりませんでした。

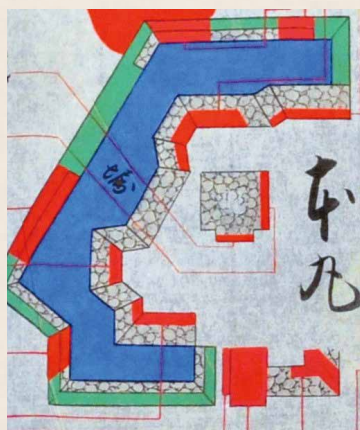
藩が自領の城を修築する際には、事前に江戸幕府から許可を得る必要があります。無許可の修築は幕府の基本法規である「武家諸法度」違反として、厳罰の対象となりました。

写真（右）は、安政2（1855）年2月、上野城修築許可申請書とともに幕府へ提出された絵図の写しから、本丸西側を拡大したものです。絵図の朱色の部分は破損箇所を示しています。また、絵図四方の余白には破損箇所についての説明が書き込まれています。

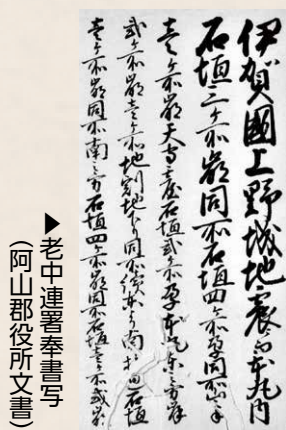
藤堂藩が上野城の修築許可を願っているのはこれが初めてのことではありませんが、この時ほど修築箇所が多い事例はありませんでした。同年3月、幕府は上野城修築を許可しました。写真（左）はその許可

状の写しです（冒頭部分のみ）。末尾には阿部正弘以下、老中5人が署名しています。こうした文書は老中連署奉書と呼ばれ、幕府が発給する文書の中で非常に重みのあるものでした。

こうして藤堂藩は上野城修築が可能となりましたが、現代のような重機がない中、被災した地域の復興もあり、城の修築には大変な困難が伴ったことでしょう。



▶伊賀国上野城破損之覽
（公財伊賀文化産業協会所蔵）



▶老中連署奉書写
（阿山郡役所文書）

文化財課歴史資料係
☎ 52・4380 FAX 52・4381

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

にほんご —都市計画課—

皆さんは現在、伊賀市に何人の外国人住民が暮らしているかご存じですか。2020年12月末時点で伊賀市の総人口89,771人のうち、全体の6.21%にあたる5,575人の外国人住民が暮らしており、国籍数は43カ国にも上ります。

1990年代以降、企業などの深刻な人手不足を解消するために一定の専門性・技能を持ち、即戦力となる外国人を受け入れる制度が創設されたこともあり、伊賀市にも多くの外国人が働きに来るようになりました。近年では永住権を取得したり、子どもを産み育て、2世代、3世代家族で永住、定住化する外国人住民も増えています。市内小中学校の外国人児童生徒数も増加しており、ますます外国人住民と接する機会は増えていくと予想されます。

私は、今「伊賀日本語の会」で、日本語を教えるボランティア活動をしています。活動の中で、「伝

えたいことが伝えられない言葉の壁」が不安につながり、日常生活や職場でのコミュニケーションの障壁になっていることを強く感じました。

そのため、外国人住民から相談を受ける機会が増えている都市計画課の窓口でも、ボランティアの経験を生かして、方言や外来語などを意識的に減らし、ゆっくり、わかりやすい日本語を使って対応することを心掛けています。

国によって言葉や文化などの違いがあるのは当たり前のことです。自分の価値観を押し付けないで、言語、宗教、生活習慣などの多様性を認め、相手を尊重することの重要性について勉強する機会を設けるなど、認識を深めることが大切です。

これからも、出身国や話す言葉に関わらず、誰もがともに暮らしやすい、多文化共生のまちづくりを進めていきたいです。

水と歴史でつながる 伊賀城和 (伊賀・山城南・東大和) 定住自立圏

伊賀城和



梅と桜

伊賀市

笠置町

山城南

山添村



【問い合わせ】 総合政策課

☎ 22-9620 FAX 22-9672

✉ sougouseisaku@city.iga.lg.jp

まもなく立春です。早春の季節を迎え、やがて花が盛りの春がやってきます。今回は、梅と桜にまつわる話を紹介します。

古くから愛される梅林

2月の花といえば梅。梅の名所といえば月ヶ瀬梅溪(奈良市)です。名張川によってできた溪谷の各所に梅林を見ることができます。

月ヶ瀬の梅林は、江戸時代の中頃から名所として有名で、当時の文人たちもたびたび訪れていました。藤堂藩の儒学者である斎藤拙堂^{せつどう}は、文政13(1830)年に弟子とともに月ヶ瀬を訪れ『月瀬記勝』^{つきがせ きしょう}という書物を残しています。『月瀬記勝』に描かれた梅溪の地図には、月ヶ瀬桃香野などとともに隣接する山城南村の高尾や田山も挙げられています。また、江戸時代の歴史家で『日本外史』^{せきとつとついでん}を著した頼山陽も、天保2(1831)年に弟子の関藤藤陰とともに月ヶ瀬梅溪を訪れています。奈良方面から梅溪に来た2人は、高尾に入ると同時に梅香に包まれた、と藤陰の紀行文『遊月瀬記』^{ゆうつきがせ き}にあります。大正11(1922)年に国の名勝に指定された月ヶ瀬の梅林は、1万本以上の梅の花が咲き乱れ、今も昔も花を愛でるひと時を与えてくれます。



田山の梅林

神木とされる枝垂桜

梅につづく季節の花は桜です。木々の間に咲く山桜は、里山にも春が来たことを実感させてくれます。

山添村の春日区にある春日神社の山桜は、幹周りが6.6m、樹高9m、樹齢は300年と推定される巨木で、古くから神木とされています。今は株を残して新しい幹が成長しています。同村の的野区にある大照寺跡の枝垂桜は、幹周りは2.8m、樹高は10mのもので、



大照寺跡の枝垂桜

崖の上に生育しています。いずれも村の天然記念物に指定され、春になると人びとを楽しませてくれます。

身近な桜の名所と楠公梅

身近なところにある桜の名所といえるのが、JR関西本線笠置駅と木津川沿いにある桜並木です。

巖倉水力発電所を建設した近代の事業家田中善助は、明治40(1907)年に笠置村(当時)内の白砂川に水力発電所を建設しました。しかし、風光明媚な笠置の地を事業によって損なったのではないかと、という反省から笠置村長と協議し、笠置駅と木津川の両岸に千本の桜を植樹しました。以降、桜の季節になると、笠置駅周辺は溪谷の美しさと桜を観る多くの人で賑わいます。

ところで、笠置町では、収穫された梅を砂糖漬けにして「楠公梅」^{なんこうばい}または「笠置梅」^{かさぎうめ}として販売していました。いわゆる「甘露梅」の一種で風味もよく、土産物としてもてはやされました。楠公梅は「笠置山」と記された伊賀焼の壺に入れて販売されていました。こうしたことは地域連携の芽生えといえるでしょう。

(文化財課)



伊賀焼の楠公梅の壺



芭蕉翁記念館だより

春が近づいてきています。春になると寝心地がよくて、朝なかなか起きられない人もいるかもしれませんね。それは芭蕉さんも同じだったようです。

ふしゅう さやかき 起こされし 春の雨

元禄4（1691）年、伊賀の兄半左衛門の家に帰省していた時の句です。実家に帰ってきた安堵感からでしょうか、だらだらと朝寝をしていたところ、家族に起こされてしまったようです。「春の雨」に、まだぼんやりしている芭蕉さんの気だるい気分が表れています。

◆企画展「芭蕉を伝えた人々」開催中

3月17日(木)まで

ギャラリートーク 2月20日(土)、3月14日(日)

いずれも午後1時30分～

【問い合わせ】

○文化交流課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619

○芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

忍者線（伊賀線）だより



伊賀鉄道通学定期券購入費助成の

申請はお済みですか

伊賀鉄道の通学定期券利用者を対象に、令和2年10月1日から令和3年3月31日までの通学利用分に対して、かかった経費の3分の1を助成しています。

申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、下記まで持参または郵送してください。持参の場合、各支所振興課でも受け付けます。

申請書は市ホームページまたは、交通政策課、各支所振興課、忍州市（上野市）駅の各窓口で入手できます。まだ申請がお済みでない人は早めの申請をお願いします。

【申請期限】 3月5日(金)

※3月購入分は3月31日(木)まで

【必要書類】 申請書・保護者の本人確認書類の写し・通帳の写し・通学定期券の写し

※詳しくは、市ホームページでご確認ください。

【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

亀山市

甲賀流戦国歴史講演 ～古地図から探る東海道と水口～

甲賀市・水口はかつて東海道五十三次50番目の宿場町としてにぎわいました。水口のまちはどのように成立し、どのように発展したのか、古地図を用いて歴史地理学の視点から解き明かします。



【と き】 2月14日(日)

午後1時30分～4時30分（開場：午後1時）

【ところ】 あいこうか市民ホール

（滋賀県甲賀市水口町水口5633番地）

【内 容】

○基調講演「古地図から探る東海道と水口」

京都大学教授 山村 亜希さん

○パネルディスカッション

※参加無料・申込不要（先着356人）

【問い合わせ】（一社）甲賀市観光まちづくり協会

☎ 0748-60-2690

東海道のおひなさま 亀山宿・関宿 ～春の訪れを告げるひな飾り～

旧東海道「亀山宿」と「関宿」の街道沿いの公共施設や民家、店舗などで、江戸時代の貴重なひな人形などが展示されます。



歴史と伝統を感じるまちなみを散策しながら、桃の節句を祝う色とりどりのひな飾りをお楽しみください。

【と き】 2月13日(土)～3月6日(土)

【ところ】 ○亀山宿…亀山市本町～布気町

（旧館家、市民協働センター「みらい」ほか）

○関宿…亀山市関町木崎～関町新所

（関宿足湯交流施設、関まちなみ文化センターほか）

※アクセスなど、詳しくは亀山市観光協会のホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

東海道のおひなさま 亀山宿・関宿実行委員会（亀山市観光協会内）

☎ 0595-97-8877



【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021



丁稚ようかん

伊賀の冬は、盆地特有の底冷えと乾燥しやすい気候が特徴です。丁稚ようかんは、冬の乾燥した喉を潤すために作られました。伊賀では昔から、こたつを囲んでよく冷えた丁稚ようかんを食べる光景が多くみられました。

一般に水ようかんとして販売されている物よりも柔らかく甘みも控えめです。



佐々木 正彦 昭和15年、上野車坂町に開業し、長年家族で和菓子屋を営んできました。伊賀地域に由来した和菓子を中心に、添加物の少ない身体に優しい商品を製造しています。

当店の屋号にある「桃青」は、俳聖 松尾芭蕉が、初めて江戸に旅立つ頃に使用していた俳号です。意味は、自分をまだ熟していない青い桃に例えて、絶えず切磋琢磨しているという気持ちが込められています。その字を頂き、若き日の芭蕉の気持ちで、日々和菓子作りに取り組んでいます。



【問い合わせ】 商工労働課
22・96699 FAX 22・96995

「ウィークリー伊賀市」でも見られるよ！

【放送期間】

2月1日(月)～7日(日)



小・中学生のためのコラムです

こども広場

「地域福祉ネットワーク会議」

■ **みんなで地域を支えていくためのしくみ**

伊賀市は、39の地域に地域をよりよくするために、地域住民がみずから設けている住民自治協議会があります。地域の特色はさまざまで、住民が感じる課題もそれぞれ違います。そのため、住民がそれぞれの地域で生活する上での課題（生活課題）を解決する方法を考えていくよう、住民自治協議会ごとに地域福祉ネットワーク会議を設置しています。



日本は、総人口が減り、社会を支える世代の人口が減っています。伊賀市も同じ状況で、これからは、これまで以上に地域のなかで住んでいる人同士が支え合いながら暮らしていく必要があります。

そのためには、地域の課題を、一人ひとりが自分のこととしてとらえ、住民みんなで解決する方法を考えていくことが大切です。その話し合いの場が、地域福祉ネットワーク会議です。

■ **設置から運営まで支援します**

地域の特色にあわせ、設置から運営まで地域福祉コーディネーターがお手伝いします。13人の地域福祉コーディネーターはそれぞれ担当地域を持ち、住民が生活課題をスムーズに解決できるよう支援しています。

■ **これからの地域福祉ネットワーク会議の役割**

生活課題の解決に必要なものは、地域によつてさまざまです。たとえば、生活していく上で、ちょっとした困りごとを頼む人が周りにいないという課題に対し、地域ぐるみで助け合う体制を作ろうとしています。ほかにも地域住民が気軽に集まれる居場所をつくる活動を行っている地域もあります。

このように、住みやすい地域をつくるため、地域福祉ネットワーク会議の役割はますます重要なものとなっています。

すでにたくさんの人が地域のために、いろいろな活動をしています。みなさんも自分の暮らしている地域で行われている行事などに、一度目を向けてみてください。

【問い合わせ】 医療福祉政策課
26・3940 FAX 22・9673

3月の子育てコーナー



赤ちゃんの健診と相談

健診・相談名	健診・相談日	時 間	場 所	対象・内容など
1歳6カ月児健診	2日(火)	13：15～14：40	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	身体計測、内科・歯科健診、歯の相談、栄養相談、 育児相談など ※対象児には、1歳6カ月児健診は1歳7カ 月頃、3歳児健診は3歳7カ月頃までに通 知します。母子健康手帳をご持参ください。
	16日(火)			
3歳児健診 (3歳6カ月児)	11日(木)	13：15～14：40	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	
乳幼児相談	4日(木)	10：00～11：40 13：30～14：30	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	育児相談・栄養相談 ※予約制 ※母子健康手帳をご持参ください。 ※詳細はホームページをご覧ください。 【問い合わせ】 健康推進課 ☎ 22-9653 いがまち保健福祉センター ☎ 45-1016 青山保健センター ☎ 52-2280
	5日(金)	9：30～11：30	いがまち保健福祉センター	
	12日(金)	10：00～11：40	伊賀市保健センター (ハイトピア伊賀4階)	
	19日(金)	10：00～11：40 13：30～14：00		

遊び場の開放

子育て包括支援センター

【開放日】

○月～金曜日、第3土曜日 午前9時～午後5時
○第4日曜日 午前9時～正午

【問い合わせ】 ☎ 22-9665

いがまち子育て支援センター

【開放日】 月～金曜日 午前9時～午後5時

【問い合わせ】 ☎ 45-1015

島ヶ原子育て支援センター

【開放日】 月～金曜日 午前9時～午後5時

【問い合わせ】 ☎ 59-9060

あやま子育て支援センター

【開放日】 火～土曜日 午前9時～午後5時

【問い合わせ】 ☎ 43-2166

大山田子育て支援センター

【開放日】 月～金曜日 午前9時～午後5時

【問い合わせ】 ☎ 47-0088

青山子育て支援センター

【開放日】 火～土曜日 午前9時～午後5時

【問い合わせ】 ☎ 53-0711

にんにんパーク

【開放日】 第2日曜日 午前9時～午後2時

【問い合わせ】 ☎ 22-9665

曙保育園「すくすくらんど」

【開放日】 月～金曜日 午前10時～午後4時

【問い合わせ】 ☎ 21-7393

子育て支援のための教室を中止します

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度開催を予定していた子育て支援のための教室を3月開催分まで中止します。各施設の遊び場の開放は通常通り行う予定です。

※今後の状況によっては変更となる場合があります。

※最新の情報は市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】 子育て包括支援センター ☎ 22-9665 FAX 22-9666 ✉ kodomo@city.iga.lg.jp

国体啓発用木製だんじりデザイン案意見交換

12月28日(月)、本庁舎で伊賀白鳳高等学校工芸部の生徒8人が、三重とこわか国体啓発用木製物品「カウントダウンだんじり」のデザイン案について、三重とこわか国体伊賀市実行委員会と意見交換を行いました。

今後、出された意見を参考に改良を重ねながら制作を進め、6月6日(日)の三重とこわか国体開催111日前にお披露目する予定です。



1. デザイン案を発表する生徒たち。
2. 出席者からさまざまな意見が出されました。
3. ミニチュアで構造などを確認しました。
4. 完成をめざして意気込む生徒たち。



令和3年成人式

1月10日(日)、新成人の門出を祝い、市内9カ所の会場で成人式を行いました。

今年の成人式は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底した上で開催しました。この日の式には643人が出席しました。



1. 記念撮影する新成人。2・3. 式典の様子。
4. 阿山会場ではバルーンリリースを行いました。



**時計修理
電池交換**

国家検定合格
技能士の店

当店には、**時計修理技能士 認定眼鏡士のスペシャリスト**が在籍しております。

メガネ 補聴器 時計 宝石 ブライダルリング

廣井時計眼鏡店

伊賀市上野魚町(銀座一丁目)

TEL 0595-21-0881

ABC HOUSING **ご来場プレゼント** 2/1月・28日 広告

※水曜日を除く

期間中、住宅公園受付で「住まいのアンケート」にお答えください。モデルホームご見学後、ご覧の賞品をプレゼントします。

Jeane Ecole PARIS 10本セット

ジャンヌ・エコール カトラリーセット

70%の高濃度アルコール配合

ハンディ 10ml アルコール除菌スプレー

名張住宅公園のみ有効

※賞品は予告なく変更される場合があります。※賞品は他のチラシ等と重複して受け取ることはできません。*(WEB限定プレゼントを除く) ※「住まいのアンケート」はABCハウジング並びに当会場の出展住宅会社からお客様に対し、住宅購入・暮らしに関する情報等をご案内する目的で取得・利用します。1世帯1名様限り、期間中1回限り、20歳未満の方はご遠慮ください。※新型コロナウイルス感染症の再拡大の状況により会場が休業となった場合、プレゼントは中止させていただきます。

上野天神東
三重県伊賀市上野新町二七五ノ二
電話 〇五九五(二)〇六(一五)

いせや

名張住宅公園 国道165号線沿い Tel.0595-62-0006 開場時間 / 水曜日を除く 10:00~18:00 〒518-0445 名張市瀬古口字藤ノ木495-1

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら営業しております。最新情報はABCハウジングホームページにてお知らせいたしますのでご確認ください。

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



《問い合わせ》

上野図書館 ☎ 21-6868 FAX 21-8999
 いがまち図書室 (いがまち公民館内) ☎ 45-9122
 島ヶ原図書室 (島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
 阿山図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
 大山田図書室 (大山田公民館内) ☎ 47-1175
 青山図書室 (青山公民館内) ☎ 52-1110

司書のおすすめ



■絵本

『やっこさんのけんか』

殿内 真帆／作・絵

5色のおりがみで作ったやっこさんたちが、自分が一番だと言って、けんかを始めました。おすもうさん、紙ひこうき、船、かざぐるまと、次々に形を変えながら、一番を決める勝負は続きます。

■一般書

『世界の児童文学をめぐる旅』

池田 正孝／著



■児童書

『偉人もみんな悩んでいた』

こざき ゆう／文

真山 知幸／文



■一般書

『47 都道府県知っておきたい気象・気象災害がわかる事典』

三隅 良平／著

『哲学の名著 50 冊が 1 冊でざっと学べる』

岡本 裕一郎／著

■児童書

『おねえちゃんって、きょうもやきもき!』

いとう みく／作、

つじむら あゆこ／絵

『正しく知って正しく使う「くすり」の大事典』

くすりの適正使用協議会／監修

■絵本

『とつくんトラックゆきのひにぶぶー』

いわむら かずお／作・絵

『もうふちゃん』くさか みなこ／作、

よしむら めぐ／絵

図書館 (室) からのお知らせ

◆郷土の歴史夜咄会

【と き】 2月19日(金) 午後6時～7時30分

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【テーマ】 甲鳥書林と中市弘

【講師】 地域誌「伊賀百筆」編集長 北出 橋夫さん
 ※ご来場の際は、上野図書館駐車場または市営上野公園第3駐車場 (午後5時以降無料) をご利用ください。

◆大人の読書会

「読書会」は、事前に課題本を読んで、その本の内容や感想などを自由に話し合う場です。いろいろな人から本の感想を聞くことで、新たな気づきを得られます。

課題本は図書館で用意しますので、事前に貸出手続きをお願いします。

【課題本】 『思い出のアンネ・フランク』

ミープ ヒース／著、深町 真理子／訳

【と き】 3月9日(火) 午前10時～11時30分

【ところ】 上野図書館 視聴覚室

【定員】 10人 (18歳以上)

【申込方法】 来館・電話

【申込期間】 2月12日(金)～3月5日(金)

【申込先・問い合わせ】 上野図書館

2月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

と き	ところ	催物 (読み手)
9日(火) 10:30～	阿山図書室	読み聞かせの会 (はあと&はあと)
9日(火) 11:30～	青山図書室	おとなカフェ
13日(土) 10:30～	上野図書館	おはなしの会
	大山田図書室	おはなしたいむ (きらきら)
16日(火) 10:30～	大山田図書室	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会
17日(水) 10:30～	上野図書館	えほんの森 (よもよも)
19日(金) 10:00～	いがまち複合施設小ホール (旧ふるさと会館いが)	絵本の時間 (お話の国アリス)
21日(日) 10:30～	阿山図書室	読み聞かせの会 (はあと&はあと)
24日(水) 10:30～	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会
25日(木) 10:30～	青山図書室	おはなしなあに?
27日(土) 10:30～	上野図書館	おはなしの会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者の人数を制限しています。

詳しい情報はこちら



音訳奉仕者養成講習会



【と き】

- 半日コース：7日間（火・金曜、午前10時～正午）
4月9日、13日、16日、20日、23日、5月7日、14日
- 1日コース：4日間（土曜、午前10時～正午・午後1時～3時）
4月10日、24日、5月8日、22日 ※最終日は午前のみ

【ところ】

三重県視覚障害者支援センター
大研修室
(津市桜橋2丁目131番地)

【内 容】

- 視覚障がい・ボランティアについて
- 正しく伝えるための音訳基礎知識、実習
- パソコンを使った録音実習
- グループ紹介、活動に向けての案内

【対象者】

音訳の経験がなく、パソコンが使える人で、ボランティアとして活動したい人
※講習会の全日程に参加できる人に限ります。

【申込方法】

三重県視覚障害者支援センターにお問い合わせいただくか、
ホームページをご覧ください。



【申込期間】 3月19日(金)必着

※テキスト(880円)の事前購入が必要です。

【申込先・問い合わせ】

三重県視覚障害者支援センター
☎ 059-213-7300
FAX 059-228-8425
✉ mieten@zc.ztv.ne.jp

【問い合わせ】

障がい福祉課
☎ 22-9657 FAX 22-9662

広報いが PDF版

広報いがPDF版を市ホームページでご覧いただけます。

※右の2次元コードを読み込んでアクセスできます。



【問い合わせ】 広聴情報課

☎ 22-9636 FAX 22-9617
✉ kouchoujouhou@city.iga.lg.jp

オンライン認知症講演会



認知症への理解を深めるための講演を動画配信します。また、視聴環境がない人向けに、視聴会を開催します。

【動画配信開始日】

市公式YouTube
「忍野市チャンネル」
2月15日(月)

【講演1】

- 演題：若年性認知症になっても笑顔のままで
- 講師：borderless-with-dementia-
若年性認知症当事者
山田 真由美さん
メンバー 山下 祐佳里さん

【講演2】

- 演題：当事者とともにつくる地域・社会
- 講師：山下 祐佳里さん

◆視聴会

【とき・ところ】

- 2月15日(月)
午後1時30分～3時
青山福祉センター教養娯楽室
 - 2月16日(火)
午前10時～11時30分
いがまち保健福祉センター研修室
 - 2月20日(土)
午前10時～11時30分
本庁舎 5階会議室501
- ※各会場とも収容人数に限りがあります。希望する視聴会の前日までに申し込んでください。

【申込先・問い合わせ】

地域包括支援センター
南部サテライト
☎ 52-2715 FAX 52-2281
✉ houkatsu-shien@city.iga.lg.jp



「ヘルプマーク」を知っていますか？

援助や配慮を必要とする人が伝えやすく、支援ができる人が気づきやすくなる「おもいやりの絆」をつなげるマークです。

【問い合わせ】 障がい福祉課

☎ 22-9656 FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp



インターネット公売

公売の対象は市税の滞納処分として差し押さえた財産です。

※せり売り・入札方式

◆市ホームページ掲載開始日時

2月9日(火) 午後4時

◆参加申込期限

2月24日(火) 午後11時

※諸事情により中止になる場合があります。詳しくは、市ホームページをご確認ください。

【問い合わせ】 収税課

☎ 22-9612 FAX 22-9618

いがオレンジカフェ



認知症の人やご家族、認知症に関心のある人、地域の人など、誰でも参加できるカフェです。

「認知症について知りたい」「相談したい」「仲間を作りたい」という皆さん、ぜひお越しください。

【と き】

2月9日(火) 午前10時～正午
※午前10時30分から健康体操や脳トレなどのミニイベントを行います。(20分程度)

【ところ】 ハイピア伊賀

4階健康ステーション

【問い合わせ】

地域包括支援センター
☎ 26-1521 FAX 24-7511



毎月1問、伊賀に関するクイズを掲載します。

【問題】 伊賀市島ヶ原の正月堂の秘仏十一面観音は、()に1度の開帳が許され、木造立像で高さは205.2cmです。

- ① 15年
- ② 20年
- ③ 25年
- ④ 33年

(答えは25ページ)

ウェルカムベビー教室



【と き】 3月6日(出)
○午前9時30分～10時30分
○午前11時～正午
【ところ】
ハイトピア伊賀 4階多目的室
【内 容】
妊婦体験・沐浴体験・妊婦相談・
育児相談など
【対象者】
妊婦とその家族(夫・母など)
【定 員】 各回先着8組
【申込方法】
住所・氏名・電話番号・出産予定
日・同伴者の有無を下記まで。
【申込期間】
2月8日(月)～3月5日(金)
【申込先・問い合わせ】
健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

ワンストップ空き家相談会



「空き家を持っているけど、将来
どうしたらいいかわからなくて不
安」、「空き家を他の人に売ったり貸
したりしたい」、「相続トラブルがあ
り、実家が空き家になったままで誰
に相談したらいいかわからない」な
ど、空き家に関する悩みを各分野の
専門家に無料で相談できます。

【と き】
2月27日(出) 午後1時～4時
(受付:午後0時30分～3時30分)
【ところ】 ハイトピア伊賀
5階学習室1・2
【相談員】
宅地建物取引士・税理士・司法書
士・土地家屋調査士・不動産鑑定士・
建築士や建設業の専門家・市職員
【問い合わせ】
空き家対策室
☎ 22-9676 FAX 22-9641

「広報いが」の点字版・録音 版を発行しています

希望される場合はお問い合わせ
ください。
【問い合わせ】 障がい福祉課
☎ 22-9657 FAX 22-9662
✉ shougai@city.iga.lg.jp

青少年健全育成推進大会



【と き】 3月6日(出) ※2回公演
○午前の部:午前10時30分～
11時30分
(開場:午前10時15分)
○午後の部:午後2時～3時
(開場:午後1時45分)
【ところ】 ゆめぼりすセンター
2階大会議室
【内 容】 人形劇団「むすび座」公演
○金のがちょう
○せんたくかあちゃん
【対象者】
未就学児～小学校低学年の子ども
とその保護者
【定 員】
親子50組(午前・午後各25組)
※申込者多数の場合は、抽選し結果
を全員に通知します。
【申込期間】
2月5日(金)～18日(木)
【申込方法】 申込書に必要事項を記
入し下記まで。市ホームページから
も申し込みます。
【申込先・問い合わせ】
生涯学習課
☎ 22-9679 FAX 22-9692

上野天神祭のダンジリ行事 お囃子演奏体験



ユネスコ無形文化遺産に登録され
ている「上野天神祭のダンジリ行事」
で奏でられるお囃子の体験会を行いま
す。
【と き】 2月28日(日)
午後1時30分～3時
【ところ】
上野西部地区市民センター
2階ホール
【対象者】 小学生とその保護者
【定 員】 10組
※申込者多数の場合は抽選。
【申込方法】 住所・氏名・電話番号
を下記まで。市ホームページからも
申し込みます。
【申込期限】 2月12日(金)
【申込先】
生涯学習課
☎ 22-9679 FAX 22-9692
【問い合わせ】
文化財課
☎ 22-9678 FAX 22-9667

認知症の人と家族の会 「伊賀地域つどい・交流会」



認知症の人を介護する家族の情報
交換の場です。
【と き】 2月16日(火)
午後1時30分～4時
【ところ】
本庁舎 2階会議室202
【料 金】 200円(認知症の人は無
料。家族の会会員は100円)
※認知症の人が参加する場合は、事
前に連絡してください。
【問い合わせ】
地域包括支援センター
南部サテライト
☎ 52-2715 FAX 52-2281

離乳食教室



【と き】 3月9日(火)
午前の部:午前10時～11時30分
午後の部:午後1時30分～3時
【ところ】
ハイトピア伊賀 4階多目的室
【内 容】 離乳食前期(1～2回食)
の話・離乳食の調理
【持ち物】 母子手帳・筆記用具・エ
プロン・三角巾・手ふきタオル
【定 員】 各回先着3人
【申込方法】 住所・参加する保護者
と子どもの氏名・生年月日・電話番
号を下記まで。
※託児を希望する人はご相談ください。
【申込受付開始日】 2月17日(火)
【申込先・問い合わせ】 健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

「あんしん・防災ねっと」

携帯電話などのメールアドレス
を登録した人には、市から緊急情報
メールが届きます。また、災害時の
緊急情報・避難所情報や休日・夜
間診療所情報などが閲覧できます。
<http://www.anshin-bousai.net/iga/>

※右の2次元コードを読
み込んで登録できます。



【問い合わせ】 総合危機管理課
☎ 22-9640 FAX 24-0444
✉ kikikanri@city.iga.lg.jp

剪定講習会



樹木に関する基礎知識や道具の取扱方法などを実習を通じて習得しませんか。

【と き】 2月27日(出)

午前9時～午後4時

※雨天の場合：3月7日(日)

【ところ】

○受付・講義：伊賀市シルバーワークプラザ 2階

(西明寺 2782-92)

○実習場所：伊賀白鳳高等学校

【対象者】

市内在住の55歳以上の人

【定 員】 20人

※申込多数の場合は抽選。

【申込方法】

住所・氏名・年齢・電話番号を下記まで。

【申込期間】 2月8日(月)～15日(月)

【申込先・問い合わせ】

(公社)伊賀市シルバー人材センター

☎ 24-5800 FAX 23-2040

手芸教室



【と き】 3月3日(水)・17日(水)

午後1時30分～3時

【ところ】

伊賀市シルバーワークプラザ

2階(西明寺 2782-92)

【内 容】

○3日：レース編みで作るレジケース・ちりめんで作るチュールリップ

○17日：レース編みで作るアマビエ人形

【対象者】

市内在住の60歳以上の人

【料 金】 1回500円(材料費)

【持ち物】 かぎ針(レース用2号から3号)、簡単な裁縫セット

【定 員】 1回10人

※申込多数の場合は抽選。

【申込方法】

住所・氏名・年齢・電話番号を下記まで。

【申込期間】

2月8日(月)～17日(水)

【申込先・問い合わせ】

(公社)伊賀市シルバー人材センター

☎ 24-5800 FAX 23-2040

みえ出逢いサポートセンター 出張相談会 in 伊賀



三重県が設置する出逢い支援の拠点「みえ出逢いサポートセンター」の出張相談会です。出逢いや結婚に関する悩みなど、お気軽にご相談ください。

【と き】 3月14日(日)・15日(月)

午前10時～午後3時

【ところ】 ハイトピア伊賀

4階ミーティングルーム

【対象者】

○結婚を希望する独身者

○子の結婚について悩みのある親

○従業員の結婚を応援したい企業の担当者

○婚活イベントを企画したい団体など

【定 員】

各日8組 1組30分程度

※予約優先

【申込方法】 電話

【申込期限】 3月12日(金)まで

【申込先・問い合わせ】

みえ出逢いサポートセンター

☎ 059-355-1322

【問い合わせ】 ※当日のみ

こども未来課

☎ 22-9665

ベトナムのことを紹介します



伊賀市にはたくさんの外国出身の人が住んでいます。中でも、ベトナム人は1,000人を超えており外国人住民の約20%を占めています。日本人やベトナム人が互いを理解して暮らすために、ベトナムの文化や日本での生活などについて、学んでみませんか。

【と き】

2月28日(日) 午前10時～正午

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階調理実習室

【定 員】 先着15人

【申込方法】

電話、ファックス、Eメール

【申込期限】 2月22日(月)

【申込先・問い合わせ】

伊賀市国際交流協会事務局

☎ 070-4455-4900

FAX 22-9631

✉ mie-iifa@ict.jp

木工教室



カットされた木材を使って素敵な雑貨を作りませんか。

【と き】 3月20日(出)

午前10時～11時

【ところ】

大山田公民館 研修室

【講 師】

三重県建設労働組合上野支部会員

【対象者】 市内在住・在勤の人(小学生以下は保護者同伴)

【持ち物】

軍手、筆記用具

※作業しやすい服装でお越しください。

【定 員】

先着10人

【申込方法】

住所・氏名・年齢・電話番号を下記まで。

【申込期間】

2月10日(水)～3月10日(水)

【申込先・問い合わせ】

大山田公民館

☎ 46-0130 FAX 46-0131

✉ ooyamada-cc@city.iga.lg.jp

女性のための エンパワメント講座



職場や地域などで、自分の思いを実現するための交渉の手法について、ワークショップを通して学びませんか。

【と き】 3月18日(水)

午後7時～9時

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階多目的室

【内 容】

○テーマ：思いを形にする交渉術

○講師：NPO法人 Co.to.hana

代表 西川 亮さん

【対象者】

市内在住・在勤の女性

【定 員】

先着15人

【申込方法】

住所・氏名・電話番号を下記まで。

【申込受付開始日】

2月8日(月)

【申込先・問い合わせ】

男女共同参画センター

☎ 22-9632 FAX 22-9666

✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp

人権啓発パネル展



◆人権政策課 人権啓発パネル展 「同和問題」 「LGBT 性的マイノリティの人権」

【と き】 2月1日(月)～25日(休)
【ところ】 本庁舎 3階
【問い合わせ】 人権政策課
☎ 22-9683 FAX 22-9684

◆寺田市民館 じんけんパネル展 「世界人権宣言」

【と き】 2月1日(月)～25日(休)
※開館延長日 9日(火)・16日(火)
【ところ】 寺田教育集会所 第1学習室
【問い合わせ】 寺田市民館
☎/FAX 23-8728

◆青山公民館 人権啓発パネル展 「全国中学生人権作文コンテスト 優秀作品パネル展示②」

【と き】 2月2日(火)～3月31日(休)
【ところ】 青山公民館 1階ロビー
【問い合わせ】 青山公民館
☎ 52-1110 FAX 52-1211

◆いがまち人権パネル展 「2020年度いがまち人権センター の活動紹介」

【と き】 2月12日(金)～3月31日(休)
※開館延長日 18日(木)・25日(木)
【ところ】 いがまち人権センター
【問い合わせ】 いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

「見守り安心シール」を ご存じですか？



このシールを貼っている人が
困っていたら、正面か
らやさしく声をかけて
ください。

【問い合わせ】 介護高齢福祉課
☎ 22-9634 FAX 26-3950

法テラス法律相談会



【と き】 2月17日(火) 午後1時～4時
【ところ】 本庁舎 2階相談室3
【定 員】 先着6人
【申込方法】 電話
【申込期限】 2月16日(火) 午後5時
※次回の開催は4月21日(火)です。
【申込先・問い合わせ】
日本司法支援センター
三重地方事務所(法テラス)
☎ 050-3383-5470

サークルまつり



【と き】
○3月6日(出) 午前10時～午後5時
○3月7日(日) 午前9時30分～午後4時
【ところ】 ハイトピア伊賀5階
多目的大研修室、学習室1・2、
ギャラリー
【内 容】
○展示部門：絵画・書・伊勢型紙・
切手・盆栽・生花・陶芸・絵手紙
など
○舞台部門：詩吟・民謡・マジック・
演劇・大正琴・ダンス・合唱・尺
八・オカリナなど
【問い合わせ】
上野公民館
☎ 22-9679 FAX 22-9692

第36回大山田芸術文化祭 (展覧会)



【と き】
○2月20日(出) 午前9時～午後5時
○2月21日(日) 午前9時～午後3時
【ところ】 大山田 B&G 海洋センター
【内 容】 絵画・書・彫塑・手工芸・
生け花などの展示
【問い合わせ】
大山田公民館
☎ 46-0130 FAX 46-0131

第19回三重大学発産学官 連携セミナー in 伊賀



【と き】 2月19日(金)
午後2時～5時
(受付：午後1時30分～)
【ところ】 ヒルホテルサンピア伊賀
4階白鳳の間(西明寺2756-104)
【基調講演】
○演題：新型コロナウイルス感染症
について
○講師：三重大学大学院医学系研究科
教授 野阪 哲哉さん
【講演1】
○演題：ポストコロナ時代の経済
○講師：三重大学名誉教授
渡邊 明さん
【講演2】
○演題：ポストコロナ時代を見据え
た企業の活動
○講師：サラヤ(株) 常務取締役
吉田 葉子さん
【報 告】
上高みらい探究実践報告
上野高等学校1年生
【定 員】 先着80人
【申込方法】 住所・氏名・電話番号・
勤務先または職種を下記まで。
【申込期限】 2月12日(金)
【申込先・問い合わせ】
三重大学伊賀サテライト
伊賀研究拠点
☎ 41-1071 FAX 41-1062
✉ iga-kyoten@crc.mie-u.ac.jp
【問い合わせ】 商工労働課
☎ 22-9669 FAX 22-9695

いがまち人権センター 第4回解放講座



【と き】 3月12日(金)
午後7時30分～9時
【ところ】 いがまち人権センター ホール
【内 容】
○演題：現在の部落差別及び社会に
残る諸差別の実態(仮題)
○講師：神奈川大学人間科学部非常
勤講師 高 史明さん
※収容人数に制限があります。会場
が満席の場合、テレビ中継による
リモート会場に案内します。
【問い合わせ】
いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

パブリックコメント (ご意見) 募集



伊賀市文化振興プラン中間案

市の文化芸術振興を進めるための具体的な計画として、「伊賀市文化振興プラン」の策定を進めています。

この計画の中間案に対するご意見を募集します。

【閲覧場所】

- 本庁舎 1階ロビー
- 文化交流課 (芭蕉翁記念館内)
- 各支所振興課
- 各地区市民センター
- 市ホームページ

【提出方法】

住所・氏名・電話番号・件名・該当箇所とそれに対する意見を明記の上、下記まで。

※提出いただいたご意見は、計画策定の参考資料とし、市ホームページなどで公表します。

※個別の回答は行わず、いただいたご意見は返却しません。

【受付期限】

2月22日(月) ※必着

【提出先・問い合わせ】

文化交流課

☎ 22-9621 FAX 22-9619

✉ bunka@city.iga.lg.jp

※持参の場合、各支所振興課、本庁舎1階総合受付でも受け付けます。

伊賀の「いいね!」がいっぱい facebook

伊賀市 公式
フェイスブックページ

2次元コード ▶



献血のご案内

- 2月26日(金)
午前10時～正午
午後1時30分～4時
本庁舎 1階ロビー
- 3月7日(日)
午前10時～正午
午後1時30分～4時
アピタ伊賀上野店

【問い合わせ】

健康推進課

☎ 22-9653

FAX 22-9666



伊賀市消防団員募集



市では、消防団員・女性消防団員・支援団員を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

【入団資格】

市内在住で18歳以上の人

【活動内容】

- 火災発生時の消火活動
- 地震・風水害などの大規模災害での救出・救助活動
- 災害危険箇所の警戒巡視
- 防火・防災啓発活動 など

【問い合わせ】

消防本部地域防災課

☎ 24-9115 FAX 24-9111



子育て何でも問い合わせ窓口

子育てに関する手続きや、気になることなど、気軽にお問い合わせください。



【問い合わせ】 こども未来課

☎ 22-9654 FAX 22-9646

ご意見をお聞かせください

広報いが・行政情報番組(ウィークリー伊賀市・文字放送)について、ご意見・ご提案をお聞かせください。

【問い合わせ】 広聴情報課

☎ 22-9636 FAX 22-9617

✉ kouchoujouhou@city.iga.lg.jp

「広報いが」 広告募集中

【掲載料】

1枠(縦5cm×横9cm):2万円

【申込期限】

発行日2カ月前

【問い合わせ】

広聴情報課

☎ 22-9636

FAX 22-9617



春のいがぶら “桃の節句のスイーツ巡り”



【と き】

2月15日(月)～3月21日(日)

※プログラムにより異なります。

【ところ】 市内

【内 容】

桃の節句にちなんだオリジナルスイーツが楽しめます。

いがぶら公式サイトや電話で予約し、開催日に各店でテイクアウトやイートインをお楽しみください。

詳しくは、いがぶら公式サイトをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症対策を行い、完全予約制で開催します。

【料金・定員】

プログラムごとに設定

【申込方法】

専用ウェブページ(いがぶら公式サイト)や電話にて

【申込受付開始日】 2月1日(月)

【問い合わせ】

○いがぶら実行委員会事務局

(株)まちづくり伊賀上野

☎ 51-9088

○観光戦略課

☎ 22-9670 FAX 22-9695

初瀬街道 参宮講看板展



初瀬街道交流の館たわらやで保存展示している参宮講看板(三重県指定有形民俗文化財)を特別展示します。

【と き】 3月3日(木)～10日(木)

午前10時～午後5時

※月曜日休館

【ところ】 青山図書室

【問い合わせ】 青山公民館

☎ 52-1110 FAX 52-1211



枯草火災の防止



毎年、伊賀市で発生する火災の約半分以上を枯草を焼却したことによる火災が占めています。燃え広がったときのために水を入れたバケツや、水道ホースの準備をしていますが、炎は予想以上のペースで燃え広がっていき、消せなかったというケースが多くなります。

野外での焼却行為は、法律で原則禁止されています。

公益上または習慣上など、やむを得ず枯草を焼却する場合は、次のことに注意してください。

- 野外焼却をする前に、消防署へ事前に届け出をする。
- 枯草に直接火入れをせず、刈り取った草を集めて安全な場所で焼却する。
- 火が燃え広がらないように最後まで監視する。
- 風の強い日や空気の乾燥している時は、絶対にしない。
- 火から離れるときは、きちんと消火する。
- 火災に備えて消防への連絡体制を確保する。

【問い合わせ】

消防本部予防課
☎ 24-9105 FAX 24-9111

市有地の売払い・一時貸付物件



市では、事業で利用・活用する見込みがない土地などを、一般競争入札などの方法により売却・貸付しています。最新の物件情報は、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

管財課
☎ 22-9610 FAX 24-2440

お薬手帳を1冊にまとめましょう

飲んでいる薬や治療歴の管理ができて安心

複数のお薬手帳を持っている人は、1冊にまとめて適切な管理を行いましょう。

【問い合わせ】 医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673

お薬手帳

伊賀市プレミアム付き商品券の使用期限が迫っています



9月から販売した「伊賀市プレミアム付き商品券」の使用期限が迫っています。期限を過ぎると一切使えなくなります。必ず期限までにご使用ください。

【使用期限】

令和3年2月28日(日)

【問い合わせ】

- 伊賀市プレミアム付商品券実行委員会事務局（上野商工会議所内）
☎ 21-0527 FAX 24-3857
- 商工労働課
☎ 22-9669 FAX 22-9695

自動販売機設置事業者



市の施設に自動販売機を設置する事業者の一般競争入札を行います。詳しくは、お問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

【対象施設】（8物件）

斎苑・上下水道部事務所・市民農園管理施設・浄化センター・西柘植地区市民センター・伊賀消防署（2カ所）・伊賀消防署西分署

【設置期間】

4月1日から1年間（最長5年）

【入札日】

3月3日(水)

【問い合わせ】

管財課
☎ 22-9610 FAX 24-2440



行政だより

「ウィークリー伊賀市」

市政情報をお伝えしています。ケーブルテレビ17チャンネル（青山は204チャンネル）・地上デジタル放送121チャンネルで放送中です。

番組表は、各支所（上野支所を除く）・各子育て支援センターで配布しているほか、右の2次元コードからもご確認いただけます。



会計年度任用職員（一般事務補助員）募集



【募集人数】

若干名

【任期】

4月1日～令和4年3月31日

【勤務時間】

1日6時間 週5日勤務

（勤務所属により変更になる場合があります。）

【報酬】

基本月額116,502円

（勤務時間により変動します。）

【応募方法】

選考採用申込書を提出（持参・郵送）

【応募期限】

採用予定者数に達し次第、受付を終了します。

（随時市ホームページに掲載します。）

【採用について】

合格者は、令和3年度の採用候補者名簿に登載され、順次採用内定します。合格者は採用予定者数より多く決定する場合があるため、採用候補者名簿に登載されても採用されない場合があります。

【その他の職種の募集】

教育支援員、教育活動サポーター、給食調理員、保育士、幼稚園教諭、地区市民センター職員、スクールバス運転手、医師事務補助員、看護師などの募集も行っています。各職種の募集人数や業務内容、勤務条件などは、市ホームページまたはハローワークの求人をご覧ください。

【応募先・問い合わせ】

人事課

☎ 22-9605 FAX 22-9742

コンビニ交付サービスの休止



システム改修作業のため、次の期間は、コンビニエンスストアの店内にあるマルチコピー機で住民票の写しなどが取得できるサービスを休止します。

【休止期間】

2月9日(火) 午後5時～終日

ご利用の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

【問い合わせ】

戸籍住民課

☎ 22-9645 FAX 22-9643

上野運動公園多目的グラウンドをご利用ください



上野運動公園プール跡地に、クレイ舗装の多目的グラウンドを整備しました。ぜひご利用ください。

【利用開始日】 4月1日(休)

【予約受付開始日】 2月1日(月)

【予約受付・問い合わせ】

スポーツ振興課

☎ 22-9635 FAX 22-9694

※4月1日以降は、予約先が変更になります。



春季全国火災予防運動



◆防火標語

その火事を防ぐあなたに金メダル

【と き】 3月1日(月)～7日(日)

建物火災の大半を住宅火災が占めており、ちょっとした気の緩みや不注意により、春先でも、コンロやストーブが原因の火災が多発します。

コンロやストーブの近くに燃えやすいものを置かない、コンロから離れるときは火を消す、ストーブの火をつけたまま給油しないなどを守りましょう。

【問い合わせ】

消防本部予防課

☎ 24-9105 FAX 24-9111

行政だより「ウィークリー伊賀市」市公式 Youtube チャンネルで配信中！



最新の放送内容を視聴できるほか、過去の放送分も視聴できます。

【問い合わせ】

広報情報課

☎ 22-9636

FAX 22-9617



三重とこわか国体協賛募集～みんなで応援しましょう～



9月25日から10月4日に開催する三重とこわか国体伊賀市開催競技会の趣旨に賛同し、協賛いただける企業・団体などを募集しています。



【協賛物品の例】

- 啓発用：のぼり旗、横断幕、ティッシュ、ボールペン
- おもてなし用：飲料水、特産品、参加者記念品
- 歓迎装飾用：のぼり旗、看板、タペストリー
- 競技会用：スタッフ被服（服飾、帽子など）、資料袋
- 開催準備用：自動車やパソコンの貸与

【協賛の特典】

- 協賛物品に協賛者の名称を明記することができます。
- 協賛企業・団体などを市実行委員会ホームページなどで紹介します。

【申込方法】

協賛の意向がある場合や詳細が知りたい場合は、企業・団体名、連絡先、担当者を下記まで。

【申込期限】

大会終了まで

【申込先・問い合わせ】

三重とこわか国体伊賀市実行委員会事務局（国体推進課内）

☎ 43-9100 FAX 43-9102

✉ kokutai@city.iga.lg.jp

多文化共生センター移転



3月1日(月)から多文化共生センターが移転します。現在の事務所は、2月26日(金)までとなり、2月28日(日)は、移転作業のため閉所します。

【移転先】

ハイトピア伊賀 4階

※新型コロナウイルス感染症対策のため、来所する場合は事前予約をお願いします。

【問い合わせ】

市民生活課

☎ 22-9702 FAX 22-9641

防災行政無線の試験放送



「全国瞬時警報システム（Jアラート）」の訓練のため、市内一斉に試験放送します。

【と き】

2月17日(水) 午前11時

【放送内容】 チャイムのあとに次の音声流れます。

「これはJアラートのテストです。」×3

「こちらは広報伊賀です。」

【問い合わせ】

総合危機管理課

☎ 22-9640 FAX 24-0444

義援金 受け入れ状況



【義援金総額】 ※12月末現在

- 東日本大震災 64,637,916円
- 熊本地震災害 632,011円
- 平成29年7月5日からの大震災 62,809円
- バングラデシュ南部避難民 56,372円
- 平成30年7月豪雨災害 307,213円
- 令和元年台風第19号災害 157,913円
- 令和2年7月豪雨災害 281,561円

※お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、支援を必要とする方々にお届けします。

【義援金箱の設置場所】

- 本庁舎 1階ロビー
- 各支所（上野支所を除く。）

【問い合わせ】 医療福祉政策課

☎ 26-3940 FAX 22-9673

＼19ページの答え／

④ 33年

本堂、楼門、本尊十一面観音は、それぞれ、国の重要文化財に指定され、2月11日、12日の修正会は県の無形民俗文化財に指定されています。

※設問と回答は「伊賀学検定370問ドリル」（上野商工会議所発行・伊賀学検定実施委員会編集）から抜粋

上野総合市民病院の数字

市民の皆さんに上野総合市民病院の現状を知っていただくため、新しいコーナーを始めます。

今回は令和元年度の当院に関するさまざまな数字を通じて、診療の状況をお伝えします。

71,826 人

1年間に入院した延べ患者数です。1日平均197人入院したことになります。

69,260 人

1年間に外来受診した延べ患者数です。1日平均190人外来受診したことになります。

これらの数字が少ないほど、市民が健康とはいひ切れません。老化とともに生活習慣病などの疾患をかかえる可能性が高くなりますので、重症化予防のために早期発見、早期治療が望まれます。

気になる症状がある場合は早めの受診を心がけてください。



2,961 人

1年間に救急科を受診した患者数です。1日平均8人受診したことになります。

1,016 人

1年間に救急科を受診した人のうち、救急車で当院へ搬送された患者数です。1日平均3人搬送されたことになります。

二次救急を担う救急外来では、迅速に診察と検査を行い、正しい診断と、適切な治療に努めています。また、より高度な医療が必要と判断した場合、三次救急を担う救命救急センターや大学病院へ搬送し、適切な治療が受けられるよう連携をとっています。

今後も市民の皆さんの安全・安心のために、あらゆる救急ニーズに対応する地域のセーフティネットをめざします。

(上野総合市民病院 院長 田中 光司)

トピックス

みんなでなくそう！ 不法投棄

市では、不法投棄を未然に防止するため、さまざまな取り組みを進めています。

しかし、タイヤや家電製品などを山林や道路脇などに捨てる不法投棄が後を絶ちません。このような行為が、地域の生活環境や自然環境を悪化させる原因になっています。

不法投棄を防ぐために、看板の設置や地域のパトロールなど、地域と行政が協力して取り組んでいくことが大切です。

◆不法投棄を防ぐために自分の土地を適正に管理しましょう

投棄された廃棄物を撤去し、もとの状態に回復させるには、多額の費用と労力が必要です。

その費用は投棄した人が負担しなければなりません。投棄した人が見つからなければ、土地所有者や管理者が廃棄物の撤去を行うことになります。

自宅から離れた場所に所有地がある場合、「定期的に見回る」「草刈りをして土地を清潔にする」「ロープなどをはり、第三者が侵入できない環境をつくる」など、ごみを捨てにくくする対策をしましょう。

◆不法投棄をしようとしている現場を見つけよう

危険を伴うことがありますので、ひとりで対応せず、すぐに警察へ通報してください。

投棄者が使用していた車両のナンバー、車種などが分かると犯人の特定に役立ちます。

不法投棄は犯罪です

みだりにごみを捨てることは、法律で禁じられています。

違反すると、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金が科せられる場合があります。



不法投棄された家電製品など(市内)



【問い合わせ】 廃棄物対策課
☎ 20・10500 FAX 20・25515
✉ haikibutsu@city.iga.lg.jp

3月の無料相談

暮らしのいろいろな問題と悩みごとについて相談をお受けします。詳しくは市ホームページをご覧ください。



相談内容	開催日	時 間	場 所	問い合わせ／備考	電 話
法律相談 ※予約制 *市職員（弁護士）が相談に応じます。 （年度内1回のみ）	11 日(木)	13:00 ～ 16:30	本庁舎 2階相談室 3	市民生活課 3/4 8:30～受付 ※先着6人	22-9638
	23 日(火)			市民生活課 3/16 8:30～受付 ※先着6人	
女性法律相談（離婚・親権など） ※予約制	10 日(水)	13:00 ～ 16:00	ハイトピア伊賀 4階相談室	人権政策課 ※受付期間（2/22～3/5） ※先着4人	22-9632
行政相談（行政相談委員） *行政に関わる日常の困りごとをお伺いします。	10 日(水)	13:30 ～ 16:00	本庁舎 2階相談室 3	市民生活課	22-9638
人権相談 （人権擁護委員）	18 日(木)	13:30 ～ 16:00	ハイトピア伊賀 4階相談室 3	人権政策課	22-9683
司法書士相談（登記・相続・借金問題など） ※予約制	24 日(水)	13:00 ～ 16:00	本庁舎 2階相談室 3	市民生活課 ※受付期間（2/25～3/22） ※先着5人	22-9638
交通事故相談 ※予約制	12 日(金)	13:30 ～ 15:30	本庁舎 2階相談室 3	市民生活課 ※受付期限（3/10） ※先着4人	22-9638
出張年金相談 ※予約制	3 日(水)	10:00 ～ 15:00	ハイトピア伊賀 3階	津年金事務所	059-228-9112
	19 日(金)				
緑（園芸）の相談	8 日(月)	13:30 ～ 16:00	本庁舎玄関ロビー	都市計画課	22-9731
外国人のための 行政書士相談 ※予約制	14 日(日)	13:30 ～ 16:00	ハイトピア伊賀 4階 多文化共生センター	市民生活課 ※受付期限（3/10） ※先着4人	22-9702
こころの健康相談 ※予約制	24 日(水)	14:00 ～ 17:00	三重県伊賀庁舎 1階	伊賀保健所	24-8076
健康相談	26 日(金)	10:00 ～ 11:00	ハイトピア伊賀 4階健康ステーション	健康推進課	22-9653
高齢者の就業相談 ※予約制	18 日(木)	13:30 ～ 15:00	伊賀市シルバー ワークプラザ	シルバー人材センター	24-5800
経営相談	12 日(金)	10:00 ～ 16:00	本庁舎 3階会議室 301	三重県産業支援センター	059-228-3326

常時開設相談

※相談時間などはお問い合わせください。

相談内容	問い合わせ	電 話	相談内容	問い合わせ	電 話
消費生活相談	市民生活課	22-9626	障がい者の総合相談	障がい者相談 支援センター	26-7725
高齢者の総合相談	地域包括支援センター	26-1521	ふれあい相談（教育相談）	教育研究センター	21-8839
女性相談 ※予約優先	こども未来課	22-9609	青少年相談	青少年センター	24-3251
家庭児童相談 ※予約優先			若者の就労相談 ※予約優先	いが若者サポート ステーション	22-0039
母子・父子自立相談 ※予約優先			雇用・労働相談	商工労働課	22-9669
こどもの発達相談			生活にお困りの方の相談	生活支援課	22-9650
	こども発達支援センター	22-9627	人権相談	人権政策課	22-9683

いがとこわか通信 vol.17

～三重とこわか国体をもっと知ろう～

今回は「三重とこわか国体」で市実行委員会のボランティアに登録されている北浦愛梨さんと中瑞希さんにお話を聞きました。

Q. ボランティアに応募したきっかけを教えてください。

(北浦) 応募ポスターを見て、やってみたいと好奇心を抱いたからです。

(中) 私は北浦さんに誘われてボランティアに興味が湧きました。



三重とこわか国体 300 日前 PR 活動

Q. ボランティア活動への意気込みを教えてください。

(北浦) たくさんの人に三重とこわか国体を知ってもらって、試合を見に来てほしいです。

(中) 三重県で国体が開催されるので、少しでも貢献したいです。

Q. 三重とこわか国体開催で楽しみにしていることはありますか？

(北浦) 全国の選手たちが団結してスポーツを楽しんでいるところが見たいです。

Q. 市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

(北浦・中) 私たちと一緒に楽しみましょう！

【ボランティアの申込先・問い合わせ】

三重とこわか国体伊賀市実行委員会
(国体推進課)

☎ 43-9100 FAX 43-9102

✉ kokutai@city.iga.lg.jp



2月の二次救急実施病院

◎各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
	1 岡波	2 名張	3 岡波	4 名張	5 上野	6 名張
7 名張	8 岡波	9 上野	10 岡波	11 名張	12 上野	13 上野
14 岡波	15 岡波	16 名張	17 岡波	18 名張	19 上野	20 名張
21 名張	22 岡波	23 上野	24 岡波	25 名張	26 上野	27 上野
28 岡波	*小児科以外の診療科です。					

※重症者が重なるなど、診察できない場合があります。
※非当番日は救急の受け入れを行いません。

《実施時間帯》 平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分

《実施時間帯（岡波総合病院）》

月曜日：午後5時～翌日午前9時 水曜日：午後5時～翌日午前8時45分
日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

二次救急（重症）の人が対象です。

救急車で搬送限定ではありませんが、必ず受診前に連絡が必要です。

上野総合市民病院（☎ 24-1111）

名張市立病院（☎ 61-1100）

岡波総合病院（☎ 21-3135）

◎伊賀市救急・

健康相談ダイヤル 24

☎ 0120-4199-22

※通話料・相談料は無料です。

◎伊賀市応急診療所（一次救急）【診療科目】 一般診療・小児科

【所在地】 上野桑町 1615 ☎ 22-9990 【診療時間】 月～土曜日：午後8時～11時
日曜日・祝日：午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時

※受付は診療終了時刻の30分前までです。駐車場に受付を設置しています。

※点滴・レントゲン検査・血液検査・インフルエンザ検査はできません。

※救急車利用の場合の帰りの手段は各自で手配してください。

◆受診可能な医療機関は、救急医療情報センター（☎ 059-229-1199）へお問い合わせください。

伊賀市の人口・世帯数 ○総数 89,771人 ○世帯数 40,620世帯
令和2年12月31日現在 ○男 44,090人 ○女 45,681人

広報いがをスマホでチェック



マチイロ

